

6-1 論文発表状況

分子研では毎年多くの学術論文を発表している。近年は民間の論文データベースが充実してきているため、これを用いたIRを研究力強化戦略室で行っている。ここでは出版論文数^{*1}の年次推移と在籍者数の推移を示すが、両者は概ね比例関係にあり、所属研究者の活動状況が維持されていることが確認できる。

出版年	Article	Review	在籍者数 ^{*2}
2004	285	3	101
2005	269	7	91
2006	254	7	91
2007	264	6	88
2008	252	9	86
2009	233	5	86
2010	242	7	88
2011	242	10	85
2012	243	9	84
2013	259	6	79
2014	204	14	80
2015	219	10	81
2016	172	7	83
2017	178	7	79
2018	190	15	76
2019	199	11	69
2020	226	16	79
2021	211	13	81
2022	201	19	80
2023	207	2	71

* 1 Scopus 調べ（2024 年 3 月 21 日現在）。

* 2 教授、准教授・助教授、主任研究員、助教・助手の総計。教授、准教授は、卓越・特任・クロスアポイントメント・客員教員を含む。

